

グループ討論実施要項

技術シンポジウム世話人会

概要

「第 37 回天文学に関する技術シンポジウム」では新しい試みとして、今後の天文分野における技術・組織・連携などの課題に対して、様々な情報共有と意見交換をすることを目的とした全員参加のグループ討論を実施した。以下、実施要項を記載する。

1. グループ討論の目的

今回のグループ討論は、今後の天文分野における技術・組織・連携などの課題に対して、各グループで様々な情報共有と意見交換をすることを目的として実施した。

2. グループ討論テーマとグループ割振り

グループ討論のテーマは、世話人会であらかじめ設定した 3 つのテーマから選択するか、参加者が新規テーマを提案できる方式とした。参加者はシンポジウム参加登録時の Web フォームから、いずれかを選択できる。今回、参加者からは 1 つの新規討論テーマの提案があり採用した。

グループ分けは、1 グループが 4 名から 8 名で所属や年齢が別れるよう世話人会で事前に割振りをした。ファシリテータは、各グループの参加者から 1 名を世話人会で選定し依頼した。表 1 に本シンポジウムでの討論テーマとファシリテータを示す。

表 1 グループ討論テーマとファシリテーター一覧

No.	Topics	Facilitator
1	技術シンポどうする？何を求める技術シンポ 1	川島進
2	技術シンポどうする？何を求める技術シンポ 2	藤井泰範
3	みんなでシェア!日常業務と改善策 1	田澤誠一
4	みんなでシェア!日常業務と改善策 2	佐藤立博
5	考えてみよう!目指すべき 10 年後 1	林左絵子
6	考えてみよう!目指すべき 10 年後 2	上野祐治
7	日本でソフトウェア技術を軽視したままで良いのか	大石雅寿

3. グループ討論のタイムスケジュール

グループ討論は、1 日目と 2 日目の両日に実施した。表 2 にグループディスカッションのタイムスケジュールを示す。2 日間に分けて実施しているが、これは 1 日目のアイスブレイクの後、休憩時間や懇親会などグループ討論以外の時間でも意見交換できることを狙ったためである。また、ファシリテータには事前に進め方、タイムスケジュール、グループメンバーの情報を伝えた。

表 2 グループ討論のタイムスケジュール

時間	項目	内容
20min (1日目午前)	グループ討論趣旨説明、 グループファシリテータの 紹介	グループ討論の意義と目的、進め方の全体説明。 各グループファシリテータの紹介
55min (1日目午後)	アイスブレイク、 担当決め、 グループ討論 (1日目)	アイスブレイクと討論での担当者決めをする、ど んな討論をするのかファシリテータから説明す る。グループごとテーマに沿って討論する。
60min (2日目午前)	グループ討論 (2日目)、 まとめ発表資料の作成	グループごとに討論し、まとめ、発表資料の作成 をする。
35min (2日目午前)	グループ討論結果の発表	グループから発表者を決めて討論内容を全員に 展開する。1グループの発表時間は5分。

4.グループ討論の進め方

実際のグループ討論の進め方は、ファシリテータと各グループの主体性に任せたが、グループ討論の参加者には事前に下記6点の留意事項をお願いした。

- ・縄張り意識を持たない
- ・相手の非難しない
- ・肩書と立場を忘れる
- ・人の話をよく聴く
- ・思い込みを捨てる
- ・楽しく議論する

なお、グループ討論の円滑化のために、サインペンと付箋、A4およびA3用紙を世話人会で用意した。

各グループの討論内容の発表は、今回初めての試みということもあり、意見やアイデアなどの紹介程度で十分とした。時間の都合により発表への質疑応答は実施しなかった。集録はパワーポイント資料やpdfなどの電子データを提出するように求めた。

5.さいごに

グループ討論は滞りなく実施され、様々な情報共有や意見交換が行われた。討論後、アンケートで貴重な意見を多数いただいた。こうした意見を、今後の技術シンポへ活かしたいと考える。討論内容は、次頁以降の技術シンポジウム集録に掲載する。

謝辞

ご多忙な所ファシリテータを引き受けて頂いた皆様、グループ討論に参加していただいた参加者の皆様、それぞれの協力によりグループ討論が開催できたことに大変感謝いたします。ありがとうございました。